

平成18年7月分電力需給状況

需要の概要

平成18年7月の販売電力量は、24億3千7百万kWh時、前年比 100.5%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、6月の気温が前年に比べ低めに推移したことによる冷房需要の減少などから、前年比 97.6%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は堅調に推移し、前年比 102.8%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学、機械などが前年を上回ったことから、前年比 105.4%となった。

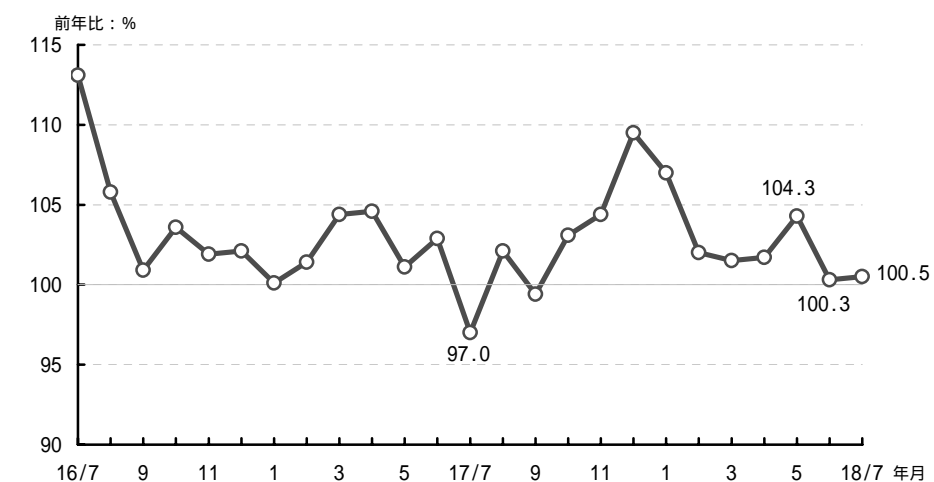
需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	709	97.6
	電 力	178	89.7
	計	887	95.9
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	636	102.8
	産業用電力	914	103.7
	うち大口電力	(681)	(105.4)
	計	1,550	103.3
販売電力量 計		2,437	100.5
融 通		580	84.3

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		18/7月	18/6月	18/5月
紙・パルプ	121	108.9	104.8	103.8
化 学	131	104.6	106.5	104.1
鉄 鋼	69	92.6	94.8	85.4
機 械	158	106.9	106.5	107.9
そ の 他	202	107.7	106.5	105.5
合 計	681	105.4	104.7	102.6

(参考2) 4県都平均気温

()

	18/6月				18/7月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	22.0	23.5	24.3	23.3	25.6	27.5	27.5	26.9
平年差	0.5	1.0	0.8	0.8	0.3	1.0	0.0	0.4
前年差	0.7	0.9	2.3	1.2	0.8	0.3	1.0	0.1

供給の概要

- 原子力は、定検の影響により、前年比 81.9%となった。
- 水力は、豊水および前年の湯水の反動により、前年比 163.4%となった。
- 以上の結果、火力は、前年比 98.8%となった。

供給実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比	備 考
原子力	(35)	1,247	81.9	出水率 125.2% (17年7月出水率 86.2%)
水 力	(15)	540	163.4	
火 力	(50)	1,762	98.8	
発受電計	(100)	3,549	97.6	
その他		59		
供 給 計		3,490	97.8	

注：()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(99.8) 555	(100.9) 415	(100.7) 834	(100.5) 633

注：()内は前年比